

Requested Patent: JP2002259723A

Title: BUSINESS SITE BUILDING SUPPORT SYSTEM FOR RETAILERS ;

Abstracted Patent: JP2002259723 ;

Publication Date: 2002-09-13 ;

Inventor(s): HARA MIYUKI; TERADA TOSHIHIRO ;

Applicant(s): ASPLAND:KK ;

Application Number: JP20010105251 20010227 ;

Priority Number(s): ;

IPC Classification: G06F17/60 ;

Equivalents: ;

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a means to allow a middle/minor retailer to build easily a one-stop business site for corporate customers which works utilizing the Internet, etc. **SOLUTION:** A data center 100 establishes an exchange route of goods data 112 and order data 113 with a wholesaler 110 through a computer network or an electronic medium 111, arranges the goods data of the wholesaler, and performs service for retailers 120. To the goods data 114 given from the wholesaler, each retailer additionally registers individual goods data 123 he wants to sell, registers the pricing factor data 122 for calculation of the offered price in accordance with the customer rank and performs an operational support service for releasing to public as the one-stop service site for the retailer 120, and thus the business site building support service for retailers is established.

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-259723

(P2002-259723A)

(43) 公開日 平成14年9月13日 (2002.9.13)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	キーワード (参考)
G 0 6 F 17/60	3 1 0	G 0 6 F 17/60	3 1 0 E
	Z E C		Z E C
	1 3 2		1 3 2
	3 1 8		3 1 8 A
	5 0 4		5 0 4

審査請求 未請求 請求項の数4 書面 (全 10 頁)

(21) 出願番号 特願2001-105251(P2001-105251)

(22) 出願日 平成13年2月27日 (2001.2.27)

(71) 出願人 501135377

株式会社エーエスピーランド

福岡県福岡市博多区東光2丁目7番25号

(72) 発明者 原 幸

福岡県福岡市博多区東光2丁目7番25号

(72) 発明者 寺田 敏廣

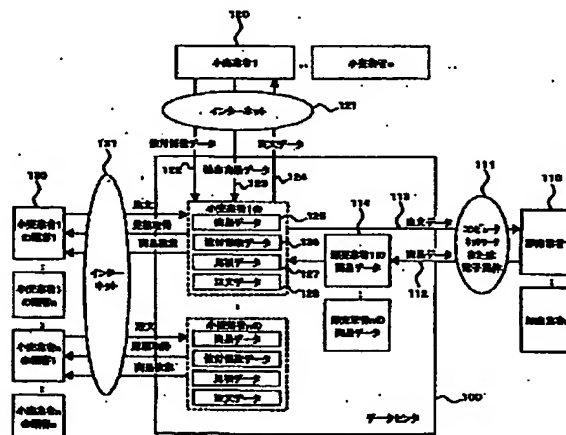
福岡県福岡市博多区東光2丁目7番25号

(54) 【発明の名称】 小売業者向け営業サイト構築支援システム

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 中小小売業者が、インターネットなどを利用した法人顧客向けワンストップ営業サイトを容易に構築する手段を提供する。

【解決手段】 データセンタ100は、コンピュータネットワークまたは電子媒体111により卸売業者110との商品データ112および注文データ113の交換経路を確立して、卸売業者の商品データの整備を行い、小売業者120向けのサービスを行う。又、小売業者は卸売業者の商品データ114に、さらに個別に売りたい独自商品データ123を追加登録し、顧客ランクに応じた提示価格計算のための値付係数データ122を登録して、小売業者120のワンストップサービスサイトとして公開するための運用支援サービスを行い、小売業者向け営業サイト構築支援サービスとし提供する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 任意の卸売業者からインターネットなどのコンピュータネットワークまたは電子媒体により当該卸売業者からの商品データを入手し当該卸売業者の商品データを日々整備する機能と、当該卸売業者の商品を販売している任意の小売業者がもつ顧客データから当該卸売業者（仕入先）の商品データを基に当該小売業者の顧客ごとに提示する販売価格を計算する機能と、当該小売業者の独自商品データを一括または個別に追加登録する機能と、当該小売業者の任意の顧客からの注文データをインターネットなどのコンピュータネットワークまたは電子媒体により当該卸売業者に渡す機能を備えたことを特徴とする小売業者向け営業サイト構築支援システム。

【請求項2】 小売業者が商品グループ単位に利幅を設定する機能、当該商品グループに対してサブグループを追加し当該サブグループに対して利幅を設定する機能、商品のメーカーの着目して当該商品の利幅を設定する機能を備えたことを特徴とする請求項1記載の小売業者向け営業サイト構築支援システム。

【請求項3】 顧客が商品の見積書を取得できる機能、商品の見積履歴を保存し参照できる機能、見積履歴から任意の見積案件を選び出して注文処理を継続できる機能を備えたことを特徴とする請求項1記載の小売業者向け営業サイト構築支援システム。

【請求項4】 小売業者が各々に自社の営業サイトをカスタマイズできる機能、及び当該小売業者の顧客が本システムにログインしたときのトップページに表示する商品やメッセージを当該顧客ごとにカスタマイズできる機能を備えたことを特徴とする請求項1記載の小売業者向け営業サイト構築支援システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、小売業者に対して仕入先の商品データの整備、顧客単位の販売価格設定を支援し、インターネットを利用した小売業者向けワンストップ営業サイトの実現を可能とするものである。

【0002】

【従来の技術】個人顧客を相手としている大手小売業者においては、すでに自前の営業サイトをインターネット上に構築している業者が数多く存在し、当該大手小売業者の中には同じ基盤を利用して法人顧客向けの営業サイトをオープンしている業者も存在する。

【0003】また、インターネット上に営業サイトを構築するためのシステム開発ツールやバイナリに加えソース提供にて営業サイト構築者がカスタマイズできるシステムまで販売されているが、高価であったり、カスタマイズに工数、費用がかかるといった現状がある。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】中小小売業者においては自社のホームページさえ持っていない業者が数多く存

在し、ましてや仕入先の商品データ整備の複雑さ、顧客単位の販売価格設定の複雑さ等の事情により、インターネットを利用した営業サイトの構築の実現は困難な状況にある。

【0005】そこで、本発明の目的は、中小小売業者がインターネットを利用した法人顧客向けワンストップ営業サイトを容易に構築する手段を提供することにある。

【0006】

【課題を解決するための手段】このような目的を達成するために、本発明は、卸売業者がもつ商品データをインターネットなどのコンピュータネットワークまたは電子媒体を介してデータセンタ側に設置されたデータベースサーバに取り込み、当該卸売業者の商品を販売する小売業者はその取り込まれた商品データを基に顧客へ提示する価格を算出するための値付係数データをインターネットを介して当該データセンタ側に設置されたWebサーバを通して当該データベースサーバに登録し、また、当該小売業者がもつ独自商品データをインターネットを介して当該Webサーバを通して当該データベースサーバに登録すると共に、当該小売業者の法人顧客がインターネットを介して当該Webサーバを通して当該データベースサーバへアクセスし、当該小売業者の商品データを検索し、購入希望商品の見積を取得し、当該商品の注文をできるようにしたものである。

【0007】また、当該法人顧客からの注文データをインターネットを介して当該Webサーバを通して当該データベースサーバから取得する、当該注文の商品が当該小売業者が仕入れている卸売業者のものである場合は、インターネットなどのコンピュータネットワークまたは電子媒体を介して注文データを当該卸売業者へ渡せるようにしたものである。

【0008】

【発明の実施の形態】以下、図面を参照して本発明の実施形態を詳細に説明する。

【0009】図1は本発明の小売業者向け営業サイト構築支援システムの構成及びデータの授受を説明する図、図2A及び図2Bは商品グループ単位に利幅などの値付係数を設定するための画面の表示例、図3A及び図3Bは各商品グループ（大分類）のサブグループ（中分類）を追加して当該サブグループに対して利幅などの値付係数を設定するための画面の表示例、図4A、図4B、及び図4Cはメーカー別に利幅などの値付係数を設定するための画面の表示例、図5A及び図5Bは図2Aで定義した価格グループ（各商品グループの値付係数の任意の組み合わせ）を小売業者の顧客に適用するための画面の表示例、図6A、図6B、及び図6Cは小売業者の顧客に対して提示する販売価格の計算処理を表すフローチャート、図7Aは小売業者の顧客が取得できる見積書の画面例、図7Bは小売業者の顧客が見積一覧を参照した場合に表示される画面例、図7Cは見積一覧から任意の見積

案件を選択した場合に表示されるショッピングカートの表示例、図8A、図8B、図8C、及び図8Dは小売業者の顧客が小売業者の営業サイトへログインしたときに表示されるトップページの内容をあらかじめ設定するための画面の表示例である。

【0010】図1において、100はデータセンタ、110は卸売業者、120は小売業者、130は小売業者の顧客であり、任意の小売業者は複数の卸売業者から商品を仕入れることが可能であり、複数の小売業者が存在し、各小売業者は各々複数の顧客を持つことが可能であるので、図中では卸売業者、小売業者、及び小売業者の顧客に添字を付けているが、説明では添字を省略する。

【0011】本発明の小売業者向け営業サイト構築支援システムは、図1に示すように、商品名、型番、価格、仕様、在庫数などの商品データ、及び商品名、型番、数量などの注文データなどを保持するデータセンタ100と、インターネットなどのコンピュータネットワークまたは電子媒体111を介して商品データ112をデータセンタ100に提供する、またデータセンタ100から注文データ113を受け取る卸売業者110と、インターネット121を介して、卸売業者の商品データ114を基に小売業者の顧客130へ提示する商品の価格を計算するための値付係数データ122及び独自の商品データ123をデータセンタ100に登録する、また、データセンタ100から注文データ124を受け取る小売業者120と、インターネット131を介してデータセンタ100にある小売業者120の営業サイトにアクセスし、商品検索、見積取得、及び注文する小売業者の顧客130とにより構成される。

【0012】ここでは図示していないが、システムを構成するデータセンタ100は、本発明のためのWebサーバ、データベースサーバなどの処理装置を備え、インターネット等のコンピュータネットワークを介してアクセス可能となっており、システムを構成する小売業者120、小売業者の顧客130のそれぞれは、本発明の処理のためのWebブラウザを搭載した装置を備え、データセンタ100にある小売業者120の営業サイトにインターネットを介してアクセス可能であり、システムを構成する卸売業者110は本発明の処理のためのサーバなどの処理装置を備え、データセンタ100にあるデータベースサーバにインターネットなどのコンピュータネットワークを介してアクセス可能となっている。

【0013】図1において、データセンタ100、卸売業者110、小売業者120、小売業者の顧客130のインターネットやコンピュータネットワークまたは電子媒体を挟んで相互間に示されている矢印付き実線はデータの移動を示しており、矢印付き破線は操作を示しており、以下、図1を参照して、本発明の全体の処理の流れを説明する。

【0014】小売業者120のインターネット上の営業

サイトを構築するために、小売業者120と取引のある卸売業者110から商品データ112をインターネットなどのコンピュータネットワークまたは電子媒体111を介して定期的に取得し、データセンタ100は卸売業者の商品データ114として保持する。

【0015】卸売業者の商品データ114と、小売業者120が小売業者の顧客130に対して販売したい、Webブラウザのフォームからの入力または商品データを記載したテキストファイルのアップロードにより登録した独自商品データ123を合わせて、データセンタ100は小売業者の商品データ125として保持し、また、小売業者120がWebブラウザのフォームからの入力または値付係数データを記載したテキストファイルのアップロードにより登録した、小売業者の顧客130が小売業者の営業サイトにアクセスした場合に提示する販売価格を計算するための値付係数データ122を、データセンタ100は小売業者の値付係数データ126として保持する。

【0016】小売業者の顧客130は、Webブラウザを利用しインターネット131を介してデータセンタ100にある小売業者120の営業サイトにアクセスし、小売業者の商品データ125を検索し、必要な場合は見積りを取得し、注文する。

【0017】小売業者の顧客130が商品を検索したとき、小売業者120がデータセンタ100に登録した小売業者の顧客130に対する値付係数データ126を基に計算した販売価格が提示され、小売業者の顧客130が見積りを取得した場合、データセンタ100は見積データ127を保持し、小売業者の顧客130が購入を希望する商品を注文した場合、データセンタ100は注文データ128を保持する。

【0018】小売業者120はWebブラウザを利用しインターネット121を介してデータセンタ100にアクセスし、データセンタ100が保持する注文データ128の中から小売業者120の独自商品の注文データ124を取得し、卸売業者110が扱う商品の注文の場合は、データセンタ100が注文データ113をインターネットなどのコンピュータネットワークまたは電子媒体111を介して卸売業者110へ引き渡す。

【0019】次に、前述した値付係数データについて、図2A、図2B、図3A、図3B、図4A、図4B、図4C、図5A、図5Bを参照して説明する。

【0020】図2Aは、商品の大分類ごとの価格コードに対応する利幅及び仕切率などを設定し、価格グループを定義する画面の例で、商品の大分類ごとに価格コード204があり、各価格コードに対して、仕入価格に上乗せして販売価格を決めるための利幅205、また、希望小売価格と利幅から販売価格を決める場合に必要な仕切率206を設定し、各価格コードと各々の価格コードに対応する利幅及び仕切率の組み合わせを一つの価格グル

ープとして定義する。

【0021】価格グループ定義の手順例としては、まず各価格コードに対して利幅及び仕切率を設定したテンプレートの価格グループを、図2Bに示すコンボボックス210に存在する選択肢デフォルト211としてシステムで提供するので、必要に応じて新価格グループ名テキストボックス202に新しい価格グループ名を設定し、価格グループのコピーボタン203をクリックすることで、例えば新価格グループ「お得意様」を追加し、お得意様価格グループの各価格コードに対する利幅205及び仕切率206を設定し、更新ボタン207をクリックする。

【0022】図2Bに示すコンボボックスの選択肢210は、図2Aの価格グループコンボボックス200の右端の下向き矢印をクリックした場合に表示されるもので、追加した価格グループを削除したい場合は、コンボボックスの選択肢210から削除したい価格グループを選択し、価格グループの削除ボタン201をクリックする。

【0023】図3Aは、商品の大分類ごとの価格コードに対して、商品の中分類の価格コードを追加する画面の例であり、図3Bはあらかじめ登録されている商品の各大分類に含まれる中分類を表示、選択するためのコンボボックスの内容の表示例である。

【0024】商品の中分類に対する価格コードの定義例としては、図3Bに示すコンボボックスの選択肢310より追加したい中分類を選択し、選択した商品の中分類は図3Aにて価格コードとして追加する商品分類コンボボックス300に表示され、利幅301、仕切率302を設定し、登録ボタン303をクリックすることで、価格コードの詳細一覧304に追加表示される。

【0025】図4Aは、商品の分類に対する価格コードの設定に加えて、商品のメーカーに着目して価格コードを追加する画面の例であり、図4Bはあらかじめ登録されているメーカーを表示、選択するためのコンボボックスの選択肢の表示例であり、図4Cはあらかじめ登録されている仕入先を表示、選択するためのコンボボックスの選択肢の表示例である。

【0026】商品のメーカーに対する価格コードの定義例としては、図4Bに示すコンボボックス410より追加したいメーカーを選択し、図4Cに示すコンボボックス420より対応した仕入先を選択し、選択した商品のメーカー及び仕入先は各々図4Aにて、メーカー名コンボボックス400、仕入先コンボボックス401に表示され、利幅402、仕切率403を設定し、登録ボタン404をクリックすることで、価格コードの詳細一覧405に追加表示される。

【0027】図5Aは、小売業者の顧客の情報を定義する画面の例であり、図5Bは顧客に適用する、あらかじめ図2Aで登録した価格グループを表示、選択するため

のコンボボックスの選択肢の表示例である。

【0028】顧客情報の定義例としては、図5Aに示す会社・法人名テキストボックス500に顧客名を設定し、図5Bに示すコンボボックスの選択肢510より適応したい価格グループを選択し、選択した価格グループは図5Aにて顧客に適用される価格グループ501として設定され、その他必要項目を設定して、登録ボタン502をクリックすることで、顧客とその顧客に適用する価格グループを対応付けて登録する。

【0029】次に、小売業者の顧客がインターネットを介して小売業者の営業サイトにアクセスして、商品情報を検索したときに提示される販売価格の計算処理について、図6A、図6B、及び図6Cを参照して説明する。

【0030】まず、図6Aに示すステップ600にて、当該商品の販売価格が、当該顧客に適用されている価格グループ指定で絶対値にて設定されている場合、ステップ601にて当該販売価格が提示価格となり、価格グループ指定で販売価格が設定されていないとき、ステップ602にて、すべての価格グループに対して販売価格の絶対値が指定されている場合、ステップ603にて当該販売価格が提示価格となる。

【0031】次に、ステップ604にて、当該商品の仕切価格が当該顧客に適用されている価格グループ指定で絶対値にて設定されている場合、図6Bに示すステップ620にてメーカー別利幅の設定があれば、さらにステップ621にて当該商品が中分類の価格コードに所属していれば、ステップ622にて中分類価格コードに対して指定されているメーカー別利幅と仕切価格の絶対値を使用して提示価格を算出し、ステップ621にて当該商品が中分類の価格コードに所属していなければ、ステップ623にて大分類価格コードに対して指定されているメーカー別利幅と仕切価格の絶対値を使用して提示価格を算出する。

【0032】ステップ620にてメーカー別利幅の設定がなければ、さらにステップ624にて当該商品が中分類の価格コードに所属していれば、ステップ625にて中分類価格コードに対して指定されている全メーカー共通利幅と仕切価格の絶対値を使用して提示価格を算出し、ステップ624にて当該商品が中分類の価格コードに所属していなければ、ステップ626にて大分類価格コードに対して指定されている全メーカー共通利幅と仕切価格の絶対値を使用して提示価格を算出する。

【0033】ステップ604にて、当該商品の仕切価格が当該顧客に適用されている価格グループ指定で設定されていない場合、ステップ605に進み、当該商品の仕切価格が全価格グループ指定で絶対値にて設定されているなら、図6Bに示すステップ620にてメーカー別利幅の設定があれば、さらにステップ621にて当該商品が中分類の価格コードに所属していれば、ステップ622にて中分類価格コードに対して指定されているメーカ

一別利幅と仕切価格の絶対値を使用して提示価格を算出し、ステップ621にて当該商品が中分類の価格コードに所属していなければ、ステップ623にて大分類価格コードに対して指定されているメーカー別利幅と仕切価格の絶対値を使用して提示価格を算出する。

【0034】ステップ605にて、当該商品の仕切価格が当該顧客に適用されている全価格グループに対する絶対値にて設定されていない場合、ステップ606に進み、当該商品の価格として希望小売価格が設定されているなら、図6Cに示すステップ640にてメーカー別利幅の設定があれば、さらにステップ641にて当該商品が中分類の価格コードに所属していれば、ステップ642にて中分類価格コードに対して指定されているメーカー別利幅、当該希望小売価格、及び中分類価格コードに対して指定されているメーカー別仕切率を使用して提示価格を算出し、ステップ641にて当該商品が中分類の価格コードに所属していなければ、ステップ643にて大分類価格コードに対して指定されているメーカー別利幅、希望小売価格、及び大分類価格コードに対して指定されているメーカー別仕切率を使用して提示価格を算出する。

【0035】ステップ640にてメーカー別利幅の設定がなければ、さらにステップ644にて当該商品が中分類の価格コードに所属していれば、ステップ645にて中分類価格コードに対して指定されている全メーカー共通利幅、希望小売価格、及び中分類価格コードに対して指定されている全メーカー共通仕切率を使用して提示価格を算出し、ステップ644にて当該商品が中分類の価格コードに所属していなければ、ステップ646にて大分類価格コードに対して指定されている全メーカー共通利幅、希望小売価格、及び大分類価格コードに対して指定されている全メーカー共通仕切率を使用して提示価格を算出する。

【0036】ステップ606にて、当該商品の価格として希望小売価格が設定されていない場合は、ステップ607で当該商品を非売品扱いとして処理する。

【0037】次に、小売業者の顧客がインターネットを介して小売業者の営業サイトにアクセスして、顧客が購入希望商品の見積書を取得し、保存された見積履歴から任意の見積案件を選び出してショッピングカートに入れる処理について、図7A、図7B、及び図7Cを参照して説明する。

【0038】図7Aは、見積書の表示例であり、図7Bは見積履歴一覧の表示例であり、図7Cは見積データから商品をショッピングカートに入れたときの表示例である。

【0039】見積書700は、商品の検索結果画面などにおいて購入操作をした場合に表示されるショッピングカート720にて、御見積書ボタン721をクリックすることで表示され、そのタイミングで見積データを保存

し、再ログイン後も当該履歴を見積一覧710として参照でき、見積一覧710にて任意の見積番号711をクリックすることで、当該見積データの商品が格納された状態でショッピングカート720を再度呼び出すことができる。

【0040】次に、小売業者の顧客がインターネットを介して当該小売業者の営業サイトにアクセスしたときに表示されるトップページ画面の設定方法について、図8A、図8B、図8C、及び図8Dを参照して説明する。

【0041】図8Aは、小売業者の顧客ごとに、あるいは顧客ごとの区別が必要なければ全顧客向けに、当該顧客が本発明のシステムにログインした場合に表示されるトップページの内容を編集するための画面の表示例で、図8Bは定義の対象となる顧客を選択するためのコンボボックスの選択肢の表示例で、図8Dは当該顧客が本発明のシステムにログインした場合に表示される画面を構成するパーツのテンプレートを選択するためのコンボボックスの選択肢の表示例で、図8Cは当該テンプレートを基にした商品表示画面を全体画面のどの位置に表示するか選択するためのコンボボックスの選択肢の表示例である。

【0042】顧客向け画面の定義の手順としては、対象顧客コンボボックス800の右端にある下向き矢印をクリックすると表示される図8Bに示す選択肢820から定義対象とする顧客を選択し、商品欄コンボボックス801の右端にある下向き矢印をクリックすると表示される図8Cに示す選択肢830から表示位置を選択し、テンプレートコンボボックス803の右端にある下向き矢印をクリックすると表示される図8Dに示す選択肢840から採用するテンプレートを選択し、コンボボックス804～808にて商品の検索条件を設定し、検索ボタン809をクリックすることで条件に合った商品が該当商品一覧810に表示され、さらに該当商品一覧810に表示された商品の中から表示したい商品を選択し、下向き矢印ボタン812をクリックすることで、表示商品一覧814に表示対象となる商品が設定される。

【0043】該当商品一覧810に表示される任意の商品を選択した場合、当該商品が画像データをもっているなら、イメージデータ表示領域811に当該画像が表示され、表示商品一覧814から任意の商品を選択し上向き矢印ボタン813をクリックすることで、当該商品を表示対象外とすることができ、クリアボタン816にて表示商品一覧に設定された商品すべてを削除することができる。

【0044】テンプレートコンボボックス803にて選択したテンプレートを基にして表示商品一覧に設定した商品がどのように表示されるか、表示イメージボタン815をクリックすることで確認でき、また、設定内容の確認ボタン817をクリックすることで、各顧客に対する表示画面の定義内容の詳細一覧を表示することがで

【図5A】

販売店登録画面

600

会社・法人名

郵便番号 店舗名称 所在地 E&M名

電話番号 FAX番号

() () - () () () () - () () () ()

601

店舗グループ

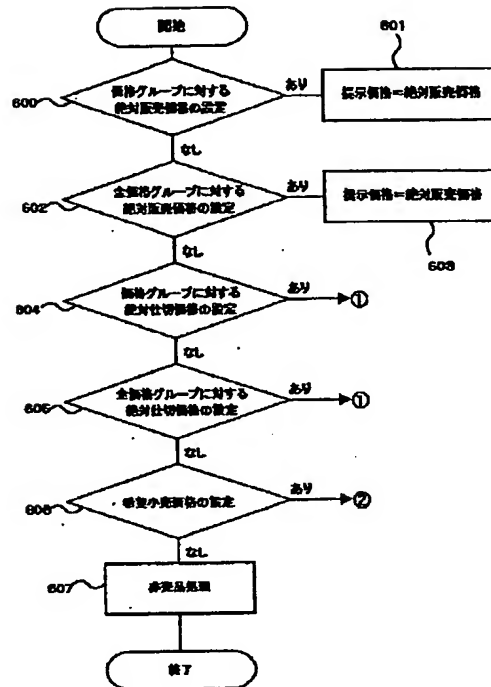
お持ち帰り

担当者氏名

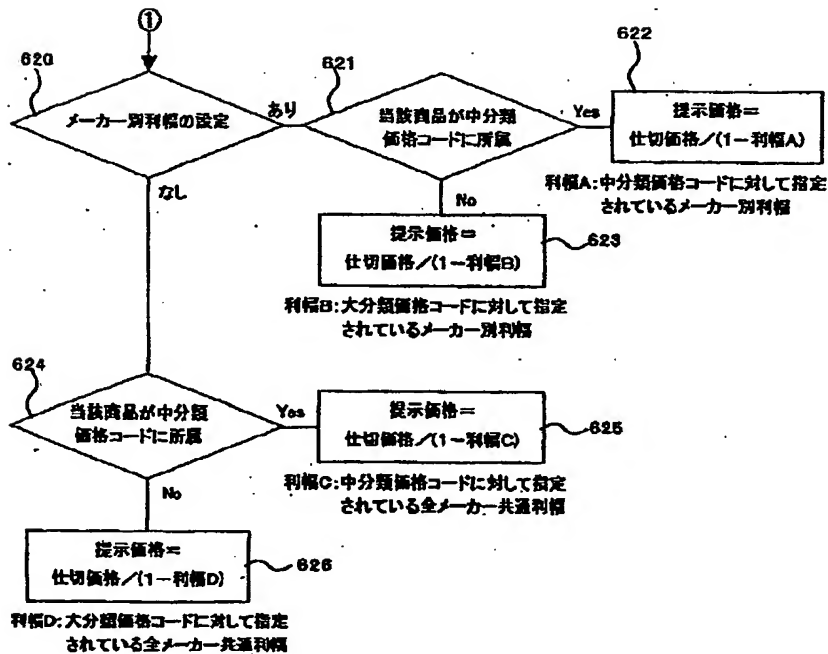
Emailアドレス パスワード パスワード(確認)

602

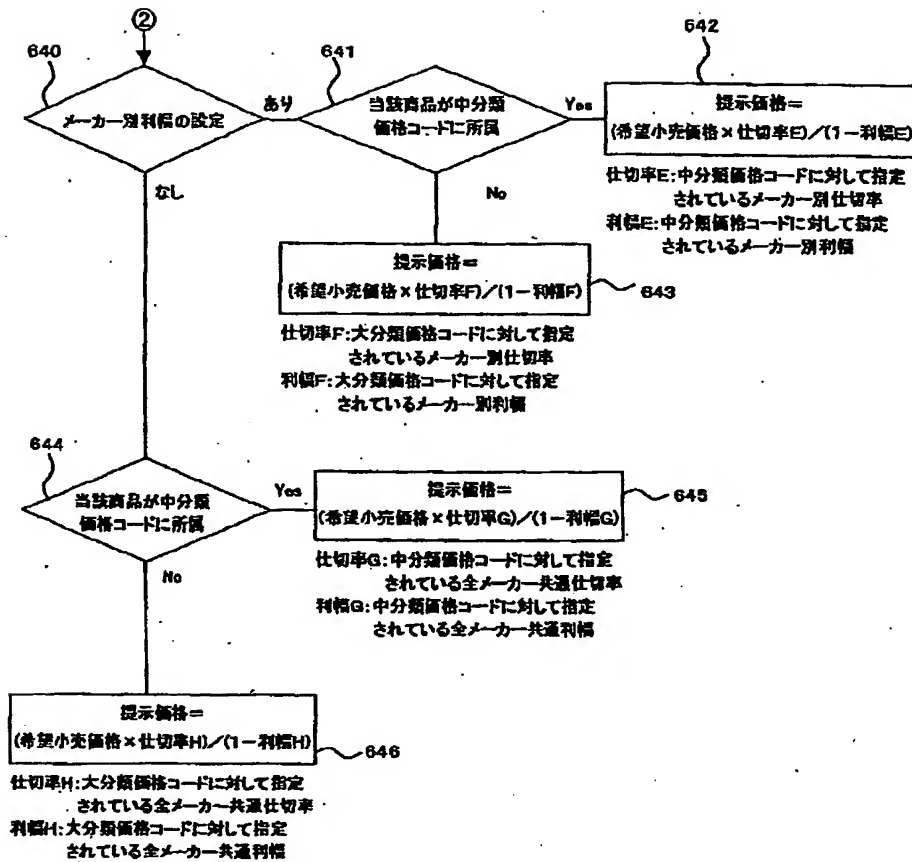
【図6A】



【図6B】



【図6C】



【図7C】

720

ショッピングカート

2	ALEXIA M20 DX NW7	¥365,900	¥731,800	数量
2	JC21.0 タッチパネルモデル310	¥379,200	¥758,400	数量
		合計金額: ¥1,490,400		

721

【図8A】

800 801 803

商品検索 商品種 テンプレート

全商品共通 本ホームページ 新製品情報

商品の設定 (商品分類は商品取得情報参照、「検索」ボタンをクリックしてOK)

商品分類(大分類) 804

777-BV(中分類) 805

サブカテゴリ(小分類) 806

メーカー 807

商品種 808

該当商品一覧 810

812 813

表示商品一覧 814

イメージデータ 811

815 816

817 818

